

鳥取県社協だより

Autumn

第244号

令和5年
10月1日発行

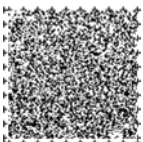
志あわせ



切り絵: 転法輪寺(琴浦町)の大イチョウ/紙原四郎(とっとりいきいきシニアバンク登録)



音声コード「Uni-Voice」を
印字しています。音声コード
をアプリで読み込んでい
ただくと音声流れます。



音声コード Uni-Voice

もくじ

■ 今日之眼 琴浦町社会福祉協議会 会長 中井一郎	2
■ トップセミナー・包括的支援体制整備推進研修	2
■ ねんりんピックはばたけ鳥取2024 大会ボランティア募集/ ねんりんピック鳥取大会ボランティア研修会開催	3
■ 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」紹介	4～5
■ 事業継続計画(BCP) 策定のための社会福祉施設の避難訓練に参加しました	6
■ 地域福祉県民講座「第45回緑陰大学」を開催	7
■ 手足の不自由な子どもを育てる運動	7
■ 鳥取県保育士・保育所支援センターの活動紹介	8
■ 保育の出前講座 受講生募集	8
■ 介護福祉士修学資金等貸付事業の御案内	9
■ 「夏休み介護のお仕事親子見学バスツアー」を開催しました!	10
■ 鳥取県立 福祉人材研修センターをご利用ください	10
■ 苦情解決による社会福祉施設・事業所の福祉サービスの質の向上	11
■ 赤い羽根共同募金	12～13
■ 賛助会員を募集しています	14
■ 御寄付御礼	14
■ 鳥取県福祉研究学会第17回研究発表会 研究発表募集	16



琴浦町社会福祉協議会 会長 中井 一郎

この度8月15日に上陸した台風7号は、鳥取県内に大きな災害をもたらしました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を祈るばかりです。この災害により、鳥取市では災害ボランティアセンターが開設されたと聞きました。ボランティアの皆さん、センターの職員皆さんのご活躍を期待します。

この原稿を書く前に、本会のボランティア推進委員会に出席していました。本町においては、登録ボランティア団体28（528名）個人53名となっています。団体に登録していただくことは、その会員から派生する繋がりには計り知れないものがあると思います。しかし、各種団体の総会等に出席させていただき、役員の方から聞く言葉は「次の役員候補がない」、「平均年齢が上がっていく

ばかり」と高齢化を嘆いておられます。定年延長が進み、65歳まで雇用が確保され、さらには70歳までは働かれる方も多くなってきました。平日に活動できる方は以前より減っています。組織には入らず、個人として活動される方が増えてきています。

それ故、今後は個人を対象に登録者を増やすことが課題で、「ボランティアやってもいいけどな」と思っている方は、まだ沢山いらっしゃると思います。SNSをもっと使うなど、個人へのアプローチの方法を検討していく必要があります。また、学生の頃から体験学習等でボランティアに触れていただく機会をもっと増やし、将来のボランティアを養成することも社協の仕事ではないかと、委員会の後思う次第です。

トップセミナー・包括的支援体制整備推進研修 孤独・孤立を防ぐ支援体制づくり 災害時にも活きる包括的支援体制のあり方

近年、様々な「生活のしづらさ」を抱えている方が、必要な支援を受けられないなど、孤独・孤立の問題が顕在化してきており、分野を超えた包括的な支援が求められています。

また、特に災害時においては、生活再建とともに、内在していた生活課題に対応していくため、災害ケースマネジメントの手法による支援が進められています。

こうした状況を踏まえ、各市町村においてどのように包括的支援体制の構築を進めていけばよいのかを考える機会として、本研修を開催しました。

講演では、全国社会福祉協議会地域福祉部長 高橋良太氏より、制度等の動向を踏まえた包括的支援体制と災害ケースマネジメントとの親和性についてお話しいただきました。

シンポジウムでは、高橋氏の講演を踏まえ、北栄町役場福祉課生活支援室長 松嶋まゆみ氏、鳥取県災害福祉支援センター特任参事 白鳥孝太氏、鳥取県包括的支援体制整備推進員 田中裕之氏より、包括的支援体制や災害ケースマネジメントの具体的な取組み等についてお話しいただき、災害時にも活きる包括的支援

体制のあり方について議論を深めました。

参加者からは、「福祉や地域のネットワークづくりが、災害時にも活用できるようにする」といった視点は、自分のこととして取組まないといけないという覚悟を呼び起こすワードとなると感じた」などの感想が寄せられ、災害を切り口として、平時からの包括的支援体制づくりの重要性に改めて気づき、実際の取組みにつながる機会となりました。



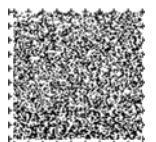
当日の内容は、期間限定でYouTubeにてオンデマンド配信をしています。是非ご覧ください。

【オンライン配信コース】

<https://youtu.be/SDSoos550gd4>

【配信期間】

令和5年12月28日午後5時まで



ねんりんピックはばたけ鳥取2024

大会ボランティア募集



あおや かみじろう

多くの県民に大会へ参加していただき、全国から集まる選手・役員等を鳥取県ならではのおもてなしの心で温かく歓迎するとともに、式典やイベントをはじめ、大会の円滑な運営を支えていただく大会ボランティアを広く募集します。

募集人数：延べ1,000人程度

募集期間：2024年5月31日（金）まで

活動内容：事前PR活動・ミーティング（企画・提案等）、大会運営補助等
※詳しい活動内容、日程などは下記ホームページでご確認ください。

応募方法：ボランティア応募フォーム（右記のQRコード）より申し込み、または応募用紙に必要事項を記入の上、下記応募先にご提出ください。

※申込時に18歳未満の方は、保護者の同意が必要となります。
持参の場合は、平日8時30分から17時までを受付時間とします。



応募フォーム
【個人用】



ホームページ

【応募・お問合せ先】

鳥取県社会福祉協議会 ねんりんピックはばたけ鳥取2024ボランティアセンター

TEL:0857-59-6338 FAX:0857-59-6340

メール:nenrinvc@tottori-wel.or.jp ホームページ:<https://www.tottori-wel.or.jp/nenrin36/>

「ボランティアで人生充実だ！」 ねんりんピック鳥取大会ボランティア研修会開催

8月19日（土）、大会ボランティア登録者及びねんりんピックに関心のある方を対象に「ねんりんピック鳥取大会ボランティア研修会」を開催しました。

研修では鳥取情報文化研究所の植田英樹氏を講師に迎え、ボランティアの意義や鳥取の魅力、ねんりんピックボランティアの醍醐味について笑いを交えてお話いただきました。また、ミニワークでは「鳥取のファンになってもらうおもてなし企画」をテーマにチームでアイデアを出し合い、どんなことをしたら来県者に鳥取を楽しんでいただけるか、鳥取の魅力を感じていただけるか考え、発表しました。

会場からは笑い声も聞こえ、参加者は和気あいあいとした雰囲気



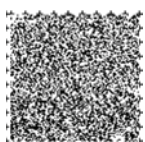
で研修に取り組んでいました。参加者からは「有意義な時間だった」「ボランティアをやる意義が見つかった気がする」「違う世代の方と話す機会となり、良い経験ができた」等の感想があり、研修を通してボランティアの楽しみ方や面白さを感じていただけた機会となりました。

大会ボランティア研修会は、今後も同一の内容で複数回開催します。開催が決まり次第、ホームページ等でご案内します。



LINE公式アカウント はじめました！

ねんりんピックの情報やボランティア研修・活動の情報を配信します



社会福祉法人による

「地域における

公益的な取組」紹介

社会福祉法において、社会福祉法人の責務化とされている「地域における公益的な取組」について、県内の社会福祉法人の取組みをシリーズで紹介しています。

今回は、社会福祉法人敬仁会が運営している地域ケアセンターマグノリア「グループホームかりん」の子ども食堂の取組みを紹介します。

社会福祉法人 敬仁会

地域ケアセンターマグノリア

グループホームかりん

子ども食堂

【取組みの経緯・内容】

開設当初から地域行事（運動会・文化展・清掃など）に積極的に参加し、地域とのつながりを大切に事業運営を行ってきました。

地域共生社会・地域包括ケアシステムの展開として、令和元年の子ども食堂の開設を目指しました。9月に子ども食堂開設委員会を発足し、

実態調査、情報収集、見学を実施しました。その翌10月にボランティアの協力依頼や食材提供を近隣スーパーへ依頼し、12月にプレオープンすることができました。

対象は、地域の子ども・住民の方々です。調理はボランティア（小・中・高校生）、グループホーム利用者、職員で行っています。

毎月第4土曜日11時30分～12時30分に実施しています。地域の農家さんなどから提供して頂いた野菜をメインに、季節に合わせたカレーライスを1食100円（大人200円）で提供しています。毎回100食程度の利用があります。

新型コロナウイルスの流行を受け、会食スタイルをテイクアウトに変更しました。地域の方の希望を受け、感染予防に努めながら子ども食堂を継続しています。



【取組みによる成果】

・コロナ禍で地域の方となかなか交流ができないうち、月に1回の子ども食堂で唯一地域の方と対話できる貴重な交流の場になっていることがうれしいです。

・グループホームご利用者様の役割作りを図ることができ、日々の生活への意欲向上や達成感などを感じて頂けていることです。

・ご利用者様の笑顔が増える時間となっていることも大きな成果です。

【活動者のコメント】

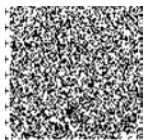
・地域の方に「かりんのカレーはあ

いしいよー。」「また来るけ。」「弁当もおいしかったぜえ。」と、声をかけて頂いています。

・とっとり子どもの居場所ネットワーク「えんたくさん」「生協コープ」さんからの支援や近所の農家さんから野菜など提供もあり、かりん子ども食堂がパワーアップしています。

・コロナ感染状況を見ながらですが、今年には中学生や高校生・大学生のボランティア参加もありました。

・ご利用者様も私たち職員も「若い元気なパワーをもらっています。



現在はコロナ禍でテイクアウト方式ですが、落ち着けば会食や勉強会など、小学生から高校生が集える居場所づくりを検討しています。

コロナ禍が落ち着いた後は、地域の方を対象にした認知症の知識や高齢者介護についてなど、専門職による相談会を食堂内で開催したいと考えています。

・孤食予防・居場所づくり・認知症理解をあわせて進めていけたらと思います。

・毎月楽しみに来てくださっている方が多いです。子ども食堂を通じて「かりん」という施設を外見だけではなく、職員やご利用者様に会って頂くことで、施設内の雰囲気やどんな施設なのか地域の皆様知って頂けるきっかけになっています。



【利用者の声】

◆かりんのご利用者様

「できることをさせてもらえて嬉しい。」「ワイワイいながらみんなでするのが楽しい。」

↓ご利用者様、ボランティアの方々、職員が一丸となって取り組み、できることを一緒に喜ぶことが笑顔につながっています。



事例提供法人

社会福祉法人 敬仁会

本部所在地／鳥取県倉吉市山根

55番地

マグノリア／鳥取県倉吉市上井

町1丁目2-1

電話番号0858(26)3922

FAX 0858(26)3923

法人HP

<https://www.med-wel.jp/>

他に実施している公益的取組み

Mag Cafe

地域の課題解決に向けて法人が連携して取り組む事業を支援します！

えんくるり事業では、市町村圏域での法人連絡会の設立・開催を促進しています。

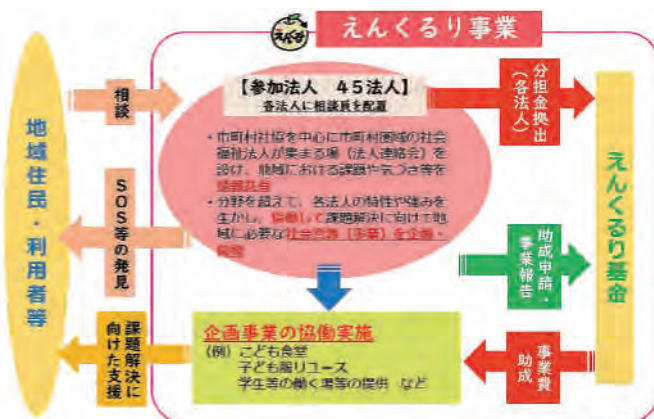
また、連絡会等で企画された法人が連携して取り組む事業に対し、事業費の助成を行っています。

(※社会資源開発事業)

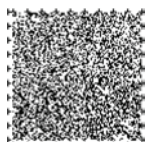
一つの法人では難しい取り組み



も、複数の法人が連携すればできることがあります。それぞれの法人の特性や強みを生かし、地域に必要なとされる社会資源を作りだしていきましょう！



■ 問い合わせ先 地域福祉部 ☎0857-59-6332 ■



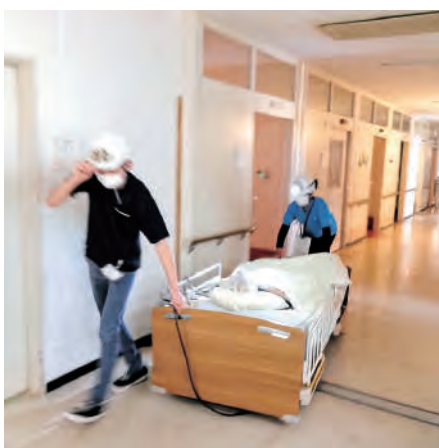
事業継続計画（BCP）策定のための 社会福祉施設の避難訓練に参加しました！

9月4日鳥取市若葉台にある特別養護老人ホーム若葉台（社会福祉法人鳥取福祉会）でBCP策定のため、模擬訓練を行いました。

発災の想定は、冬季、20時、震度6弱の地震が発生。被災状況は、電気のみ不通、一階、2部屋の窓ガラスが破損し、その部屋の入居者8名の避難を行うというものでした。この模擬訓練は、佛敎大学の後藤至功先生をお招きし指導していただきました。

まずは、窓ガラスが割れた居室からの避難です。2人一組でベットを居室から、デイルームへ移動します。施設は、停電の設定で薄暗くなっています、職員はヘルメットをかぶりヘルメットに備え付けたライトを点け二人一組で利用者の方をベットごと運んでいきます。訓練といえども、職員の方からはひしひしと緊張した雰囲気伝わってきました。当然、運ばれている利用者の方も緊張されています。ここでポイントです、避難の間中利用者の方に「大丈夫ですよ」と常に声掛けをされています。振り返りの時に後藤先生から良

い点としてあげていただいた点です。利用者の方の緊張や不安を和らげるためにも、落ち着いた優しい声での声掛けが必要です。



その後、災害対策本部の立ち上げ訓練です。後藤先生からは次のようなアドバイスがありました。

- ・ ホワイトボードへの記録は、クロノロジーで行います。（※活動内容を時系列で記録・整理したもの）
- ・ 使用できるパソコンを確認しましょう。（うち一台は記録専用）
- ・ ホワイトボードへの記録は報告者が直接しましょう、その方が効率的です。
- ・ 地図等へ被災状況を記録する場合

はフリクシヨンプンを利用しましょう。状況が解消すればフリクシヨンプンで記載した内容を消すことができます。

朝、夕に時間を決め、短くてもよいからミーティングを行い情報共有を図りましょう。

報告、それに対処した内容は色を変えて記録していくと確認しやすいです。対応が書いてない場合はまだ未解決案件となります。

最後に振り返りを行いました。

振り返りの前に、非常食の試食を行いました。カレーうどん、フリーズドライの白がゆに、かに雑炊や卵スープで味付けしたもの、チャーハン、ドライカレー（加える水分量によりリゾットにもなります）がありました。単なる白がゆではなく、かに雑炊の素やたまごスープで味付けなど工夫され、おいしく感じました。また、同じものでもメーカーによって味が変わりますので是非試食をやらせてはどうでしょうか。

振り返りは、撮影した動画を確認しながら、その都度、後藤先生からアドバイスをいただきました。

災害時、参集者は参集順に役割が違います。若葉台では、衣装ケースのようなものに番号を付け、その中に必要なヘルメット等の装備品、指示書が入っていて、到着順にヘルメッ

ト等を装着し、業務にすぐ取り掛かれるよう工夫されていました。なお、今年度、二つの施設でBCPを作成しておられ、その報告会を11月に予定しています。詳細はホームページ等で紹介いたしますので、興味のある方はぜひご参加ください。



お知らせ

〈BCP策定モデル施設報告会〉

実施日…令和5年11月6日（月）

13:30

会場…新日本海新聞社中部本社

報告施設…特別養護老人ホーム若

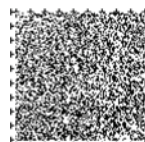
葉台

報告施設…介護老人福祉施設美和

あすなろ

※申し込み方法は、後日ホームページ

等でお知らせします。



音声コード Uni-Voice

地域福祉県民講座

「第45回緑陰大学」を開催

県民が広く参加し地域福祉について学ぶ地域福祉県民講座「緑陰大学」を、6月20日にハワイアロハホールで開催しました。

45回目となる今回は、孤立や孤独が引き起こす社会問題が取り沙汰される昨今、誰もが安心・安全に暮らすことができる社会の実現に向けて、「温もりのある支え愛社会を想像／創造する」というテーマを設定し、約270名の参加がありました。

講演①では、日本一無口な絵描きとして全国で講演活動を行う河村武明氏より、「不思議な「ありがと」のチカラ」と題して、脳梗塞の後遺症により言語・聴覚障がいを抱えることとなった自身の経験をもとに、言葉が持つ力



や影響力、他者とのコミュニケーションを取る上で大切にしたいことについてご講演いただきました。講演中は、代読者

の方の説明に合わせて、武

明氏が壇上で身振り手振りを使って賑やかにリアクションを取られ、クイズを出題される場面などがありました。



続く講演②では、ITエヴァンジェリスト、デジタルクリエイターの若宮正子氏より、『私は創造的でありたい〜人生に「もう遅い」はない〜』と題して、高齢者がITを上手く活用しながら自分らしく活躍していくことの意義についてご講演いただきました。

今回の二つの講演は、障がいがあることや高齢であることは決して悲観的なことではなく、誰もが創造的な思考を持って前向きに自分らしく生きることで、自分だけでなく周囲の人達にも良い影響を与え、結果として地域全体を元気にすることに繋がるといふことを考える機会となりました。

第71回

手足の不自由な子どもを育てる運動

2023.11/10 ~ 12/10

友情の絵はがき® 愛の絵はがき®



「にぎやかな町」安 明日夢 「想いでのせて」山本 純一

ペンギンのゆーむとあーむの2WAYフォルダー



全国にはさまざまな原因により、手足の不自由な子どもたち約50,000人が地域で生活しています。

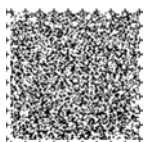
日本肢体不自由児協会/鳥取県肢体不自由児協会では、このような子どもたちに対して支援するとともに、幅広い方々に療育思想の普及を図ることを目的とし、さまざまな事業を行っています。その資金は、「絵はがき」「クリアファイル」「2WAYフォルダー」の頒布による募金を中心とした寄付金に支えられています。

皆様からのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

ペンギンのゆーむとあーむのクリアファイル



◆お申し込みは 鳥取県肢体不自由児協会
〒689-0201 鳥取市伏野1729-5
☎0857-59-6344 ㊟0857-59-6340



■ 問い合わせ先 福祉振興部 ☎0857-59-6344 ■

鳥取県保育士・保育所支援センターの活動紹介

★保育のお仕事体験事業(中・高校生向け)を実施しました★(11月にも実施予定)

今年度は7月25日(火)・27日(木)・8月1日(火)・9日(水)・11月2日(木)(予定)の5日間で延べ45施設での実施を計画したところ、多くの参加申込をいただき、夏休み期間中に105名が体験しました。

この、保育のお仕事体験では、保育所等での体験実習を提供することで、保育士の魅力を実感してもらい、将来の職業選択のきっかけになることを目的に開催しました。

夏休み期間中の4日間は、いずれも暑い中での活動となり、午前中はプール時の園児の着替えの手伝い、絵本の読み聞かせ、製作活動の手伝い、給食補助や寝かしつけ等盛りだくさんの内容を積極的に活動していただきました。

午後からは、体験の振り返りをしたり、園長先生や保育士さんから園の特徴や保育の仕事のやりがい等貴重な



7/25 倉吉幼稚園

なお話を伺い、

より保育士の魅力を知っていただけたと思います。

参加者アンケートでは、参加したきっかけについて、「将来、保育士に就きたい」、「保育の仕事に興味があった」方が大半を占めており、各施設の特徴ある保育方針にも触れ「参加したことにより興味を持った」、「先生方の大変さも分かったうえで、やりがいのある仕事だと感じた」、「将来の夢を叶えるために頑張りたい」などの感想がありました。

この体験をきっかけに、将来の職業選択の参考にしていただければと思います。

また、体験施設の職員の皆さんにも大変お世話になりました。

本センターでは、引き続き、保育士・保育士の魅力を保育現場の皆さんと一緒に発信していきます。その他、「保育の仕事や資格について知りたい」、「など気軽にセンターまでお問い合わせください。

合わせて

い。



7/25 鳥取短期大学附属こども園



7/27 倉吉幼稚園

「若い世代への保育の魅力発信事業」

保育・保育士の魅力を保育現場の皆さんと一緒に発信しています。

保育の出前講座

県内の中学生や高校生を対象に、若手保育士等が先輩として学校等を訪問し、「仕事内容ややりがい」、「葛藤」、「鳥取で働く魅力」などを伝えます。

保育のおしごと体験事業

県内の高校生(11/2(木)予定)や潜在保育士(随時)を対象に、保育施設での仕事体験を実施します。

【問い合わせ】鳥取県保育士・保育所支援センター

〒689-0201鳥取市伏野1729-5 TEL 0857-59-6342 FAX 0857-59-6341

メール hoikucenter@tottori-wel.or.jp

ホームページ <https://www.tottori-wel.or.jp/jinzai/3/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/tottorihoiku/>

利用時間/月~金 8:30~17:00(祝日、年末年始は除く)

フェイスブックで
随時情報発信して
います!



受講生
募集

保育の出前講座

費用無料

講座内容

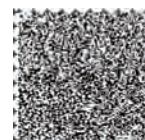
現役の保育士(保育教諭)とセンター職員が学校等へ伺い、保育の仕事のやりがいや葛藤、鳥取で働く魅力等をお話しし、疑問にお答えします。

対象

鳥取県内中学校・高等学校の生徒、保護者

実施期間

令和5年7月1日~令和6年2月29日



介護福祉士修学資金等貸付事業の御案内

いずれの資金も条件を満たした場合、**貸付金の返還免除申請権**が取得できます。
(ただし、返還免除の適用は申請権を取得した上で権利の行使が必要です)
また、いずれの資金も資力のある連帯保証人を1名立てる必要があります。
制度利用に関する詳細については、本ページ下部の問合せ先へ御照会ください。



(1) 介護福祉士修学資金貸付事業 及び 社会福祉士修学資金貸付事業

介護福祉士資格取得を目指し介護福祉士養成施設に在学する方、及び社会福祉士資格取得を目指し社会福祉士短期養成施設又は社会福祉士一般養成施設に在学する方の内、資格取得後は鳥取県内の事業所で資格を用いた業務に従事する予定の方に学費等の費用を貸付することで、国家資格の取得をサポートします。

- 貸付金額 ①修学費 毎月5万円以内（在学期間を貸付対象、留年期間は対象外）
- ②入学準備金 20万円以内（養成施設入学年度のみ1回限り）
- ③就職準備金 20万円以内（養成施設卒業年度のみ1回限り）
- ④試験対策費 4万円以内（介護福祉士養成施設在学者のみ卒業年度に1回限り）
- ⑤生活費加算 毎月生活保護法の級地区分額（生活保護世帯又は準要保護世帯のみ）

【使途例】①＝養成施設在学中の学費 ②＝入学時の支度費 ③＝就職活動時及び就職時の支度費
④＝国家資格試験受験費用 ⑤＝養成施設在学中の生活費 等

(2) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

介護福祉士資格取得を目指し介護福祉士実務者研修施設に在学する方の内、資格取得後は鳥取県内の事業所で介護職員として業務に従事する予定の方に受講費用等を貸付することで、国家資格の取得をサポートします。

- 貸付金額 ①実務者受講資金 20万円以内（1人1回限り）

【使途例】受講資金、参考図書等、国家資格試験受験費用 等

(3) 離職した介護人材の再就職準備金貸付事業

介護職員を退職後1年以上経過している潜在化した介護人材（介護福祉士資格、介護職員初任者研修修了等一定の知識・経験を持つ方）が、鳥取県内の事業所で介護職員等として再就職する場合、就職時に必要な費用を貸付することで、再就職をサポートします。

- 貸付金額 40万円以内（1人1回限り）

【使途例】介護職員として働く際に必要となる靴・被服・道具・鞆、就職に伴う転居費用、通勤用自転車・バイク購入費、等

(4) 介護分野就職支援金貸付事業 及び 障害福祉分野就職支援金貸付事業

他業種を退職し、鳥取県内の事業所で介護分野又は障害福祉分野に就職が決まった、介護職員従事経験の無い新たな介護人材（介護職員初任者研修修了等一定の技能を習得した方）に就職時に必要な費用を貸付することで、転職をサポートします。

なお、就職する施設の種別（介護分野又は障害福祉分野の別）により、利用する事業が変わります。

- 貸付金額 20万円以内（1人1回限り）

【使途例】介護職員として働く際に必要となる靴・被服・道具・鞆、就職に伴う転居費用、通勤用自転車・バイク購入費、等

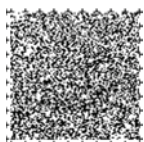
(5) 福祉系高校修学資金貸付事業 及び 福祉系高校修学資金返還充当資金貸付事業

介護福祉士資格取得を目指して福祉系高校に在学する方の内、資格取得後は鳥取県内の事業所で介護職員として業務に従事する予定の方に学費等の費用を貸付することで、国家資格の取得をサポートします。

なお、就職する事業所が介護保険制度の福祉サービス事業所以外の介護業務を実施する事業所の場合は、福祉系高校修学資金貸付事業から福祉系高校修学資金返還充当資金貸付事業に借り換えが必要となります。

- 貸付金額 ①修学準備金 3万円以内（福祉系高校入学年度のみ1回限り）
- ②介護実習費 毎年3万円以内（在学期間を貸付対象、留年期間は対象外）
- ③国家試験対策費 毎年4万円以内（在学期間を貸付対象、留年期間は対象外）
- ④就職準備金 20万円以内（福祉系高校卒業年度のみ1回限り）

【使途例】福祉系高校における授業料及び入学金への充当は不可
①＝入学時の被服・教材等 ②＝介護実習における被服・教材等
③＝国家試験受験料、模擬試験受験料、参考図書購入費等
④＝就職活動時及び就職時の支度費



■ 問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 ■

「夏休み介護のお仕事親子見学バスツアー」を開催しました！

コロナの影響で中止が続いていた「介護のお仕事親子見学バスツアー」を今年はようやく実施することができました。小学校4～6年生の親子を対象に、体験型プログラムで介護のお仕事を楽しく学んだり、夏休みの自由研究としてまとめたりしました。開催内容と、参加者の声を報告します。



●開催日・参加人数・見学先

【東 部】 令和5年7月22日（土）参加者 9組18名
特別養護老人ホームふしの白寿苑・鳥取社会福祉専門学校

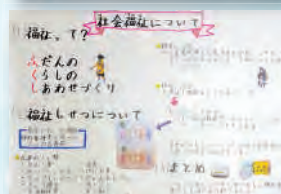
【中 部】 令和5年8月5日（土）参加者 3組6名
湯梨浜はごろも苑・鳥取社会福祉専門学校

【西 部】 令和5年8月6日（日）参加者 9組21名
特別養護老人ホームゆうらく・YMCA米子医療福祉専門学校

●参加者の声

- ・施設や養成校を見学でき、バスで親子でゆっくり過ごせたことも良かったです。夏休みの課題もクリアでき良い事ばかりでした。（東部）
- ・子供に介護の仕事を知って欲しくて参加しました。介護の仕事の現場が見学できてとても良かったです。（中部）
- ・スタッフの皆様があたたかく自然と介護の楽しさが親にも子にも伝わってきました。介護＝大変ではなく楽しいと思わせてくれるツアーでした。

（西部）



■ 問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 ■

鳥取県立 福祉人材 研修センター をご利用ください

◆空き状況確認

とっとり施設予約サービス

福祉目的の利用には
利用料金の減免があります



鳥取県立福祉人材研修センターは、福祉人材の養成等を目的とした研修・セミナーはもとより、一般の企業・団体様の会議・研修などでも利用が可能です。全館バリアフリーで、多目的トイレ・点字ブロック等も完備。障がいのあるなしにかかわらず安心して利用いただけます。

各研修室にはWi-fiも設置済です。

利用例

福祉人材の養成研修、介護知識・技術の講座
一般企業・団体の会議・研修
講演会・セミナー など

所在地：鳥取県鳥取市伏野1729-5

●開館時間：9時～17時（最大21時まで延長可） ●休館日：祝祭日・年末年始・保守点検日
各部屋の収容人数・利用料金等をインターネットでご確認いただけます。

利用予約・ご相談 0857-59-6330



苦情解決による社会福祉施設・事業所の福祉サービスの質の向上

平成十二年に社会福祉事業法が社会福祉法となり、福祉サービスは、利用者が福祉サービスを選択し、契約によりサービスを利用する制度となりました。そして、同法第七十八条で「社会福祉事業の経営者は、常に福祉サービスを受ける者の立場に立つて良質かつ適切な福祉サービスを提供するよう努めなければならない」とし、第八十二条で「経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならない」と定めています。また、事業所段階での苦情解決が難しい事例に備え、各県ごとに運営適正化委員会を設置することとなりました。

運営適正化委員会では、事業所の苦情解決体制整備に向けた取組として、苦情解決の事業所用ポスターや手引きを作成するとともに、苦情解決について見識を深めていただくための研修会を実施しています。今年の七月十九日に開催した苦情解決事業研修会では、会場参加とオンライン参加（録画視聴）を合わせ六百七十名近い数多くの社会福祉施設・事業所の方に参加していただきました。

開会に当たり、美田委員長から「人と人が触れ合う福祉サービスでは何



もないことはありえず、苦情の件数がゼロであることが必ずしも良いわけではなく、ものを言いやすい雰囲気が必要。問題が起これば、将来的により良い関係を築くことを考え対処していく必要がある。」とあいさつをしました。

研修では、YMCA米子医療福祉専門学校講師の中川正純様（認定社会福祉士）から、これまで福祉事務所や福祉施設で課長や施設長等として携わられた様々な経験や人権相談員としての3千件を超える相談内容等を踏まえ、講演をしていただきました。中川様からは、苦情相談は、初期対応で信頼の基礎が決まるということや相談者の方の気持ちを受け止め傾聴し、誠実、謙虚な気持ちで

対応することが必要で、解決方法を一緒に考える伴走的支援が重要ということをお話しいただき、苦情解決制度の仕組みや苦情相談の対応方法についても、様々な事例を交えて、わかりやすく教えていただきました。そして、苦情解決の目的は、一つは、人を人として護るという「利用者の権利を擁護すること」で、もう一つは、利用者のニーズに合った血の通ったサービスが提供されるよう「福祉サービスの質を向上すること」であり、苦情を教訓として、改善を共有し、苦情はありがたいとプラスに考えることが大切であると、参加者に強く訴えられました。

参加者からは、「体験も交えて話していただき、わかりやすかった。」「相談者として、忘れてはいけない心構え、姿勢を再認識できた。」等の感想をいただきました。



今後とも、委員会では福祉関係の皆様と連携して苦情取組体制の充実を図り、福祉サービスの向上につなげていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく願います。

■ 問い合わせ先 福祉サービス運営適正化委員会 ☎0857-59-6335 ■

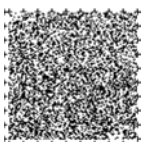
パソコン修理～ 介護ソフト～ 伝送設定～

OA機器 リース メンテナンス

有限会社 松本事務機

鳥取市千代水2丁目117番地
http://values.main.jp

☎ 0857-31-6661
FAX 0857-31-6662





赤い羽根共同募金

～じぶんのまちを良くするしくみ。～



10月1日から共同募金運動が始まります
～ご理解とご協力をお願いいたします～

共同募金は、地域の福祉事業や活動を助成するため、事前に使いみちや集める額（目標額）を決めて、計画的に実施する募金です。

地域には、様々な方々が生活しておられ、いろいろな地域課題があります。

共同募金ではその課題を解決するため、地域で「じぶんの町を良くするしくみ」を進める活動（地域福祉活動）を資金の面から応援します。

また、近年では災害支援の分野にも役立てられています。毎年赤い羽根共同募金の一部を「災害等準備金」として積立て、地震や豪雨などによる大規模災害が発生した際に、被災地で求められる災害ボランティア活動に活用されています。



令和5年度 オリジナルバッジデザイン

◇今年度募金目標額◇	120,000,000円
【内訳】 一般募金	100,000,000円
歳末たすけあい募金	20,000,000円

今年も皆さまのあたたかいご理解とご協力をよろしくお願いします。



十分な支援を届けるための「募金目標額」

共同募金は、予め市町村ごとに助成先や助成事業を決めてから募金を行う「計画募金」です。そのため、支援が必要なところに助成金が行き渡るよう、募金目標額を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。



募金の種類

地域で募金をしていただくほかに、いろいろな募金の方法があります。詳しくは窓口にお尋ねください。



「募金の種類」
はこちらから

振込による寄付
最寄りの郵便局からお振込みいただけます。（手数料無料）



ネット募金
インターネットから直接寄付ができます。



赤い羽根自動販売機
ご協力いただいた設置者様や飲料メーカーから、売上げの一部が共同募金として寄付される共同募金協力型自動販売機です。



グッズ募金

鳥取県オリジナルバッジや初音ミク、プリキュアなどコラボグッズの購入を通じてご寄付をお願いします。



ありがとうメッセージ
～NHK歳末たすけあい～



商品開発の為の備品購入事業 (カッティングマシン等の整備)

特定非営利活動法人 ねっこ (鳥取市)

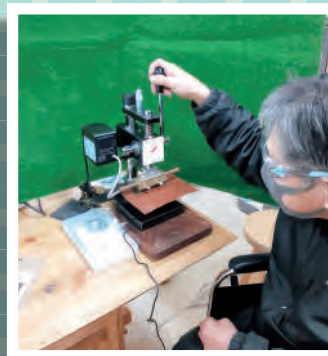
このたびは、共同募金の助成金を受けられることになり、新商品の開発に向けて、必要な機材を導入することができました。

機材が到着し、開封後の億劫となりがちな初期設定ですが、その初期段階においても、利用者さん達の知識と技術が発揮されました。作業所内では、新たな機材の導入によりメンバーさんたちの“ワクワク”感で創作意欲が刺激され、活気のある日々を過ごしています。



そんな豊かな日々を送れるきっかけをありがとうございます。

「箔押し機」で作業中



「カッティングマシン」(奥)と「作成された製品」(手前)

■ 問い合わせ先 鳥取県共同募金会 ☎0857-59-6350 ■

MORRIX JAPAN Corp.



私たちは人にやさしい快適環境を創造し、
未来をデザインするヒューマン企業です。

介護・自立支援・栄養管理・勤怠・給与・会計・セキュリティシステムから
介護用品まで介護現場をトータルでサポート致します。

お客様の環境と問題点をお聞きし、事務の効率化、介護現場の効率化を共に
考え最適なシステムをご紹介します。

■ 当社の取扱い介護・自立支援・栄養管理システムメーカー ■

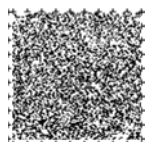
ND ソフトウェア株式会社 (ほのぼの NEXT)
株式会社 ワイズマン
株式会社 東経システム (福祉見聞録)
株式会社 日立システムズ (福祉の森)
株式会社 コーエイコンピュータシステム (EIBUN)

株式会社 モリックスジャパン

本社 〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町 203-6
TEL 0857-23-3641 FAX 0857-22-3329

倉吉店 〒682-0812 鳥取県倉吉市幸町 529
ユーミーレジデンス 1-3 号
TEL 0858-24-5451 FAX 0858-24-5452

モリックスジャパン





賛助会員を募集しています



本会では、地域福祉の推進とみんなで作る福祉社会の実現に向けて、“県民参画による福祉のまちづくり” “安心して暮らせる仕組みづくり” “福祉を担う人づくり”を中心に地域の様々な機関・団体と連携して、安心して暮らせる地域社会をめざしています。賛助会員の皆様のご協力をいただき、県内の地域福祉をより一層充実していきたいと考えています。本会の趣旨にご賛同いただき、会員としてご支援、ご協力をくださいますようお願い申し上げます

会費（毎年度）団体 一口：10,000円

個人 一口：3,000円

【賛助会員になるには】

入会を希望される方は、鳥取県社会福祉協議会ホームページより加入申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入の上、本会まで郵送してください。入会申込書受理後、会費納入のご案内をお送りします。

○申込書送付先○

〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5 鳥取県社会福祉協議会 総務部

新規会員様ご紹介（令和5年9月30日現在）

岩下 久展 様 吉野 知子 様 松田 吉正 様 池谷 勇樹 様
ご入会いただきありがとうございました。

■ 問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331 ■

御寄付御礼

（令和5年8月31日現在、順不同）

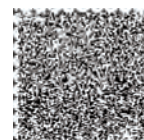
御寄付を賜り誠にありがとうございました。御意志に従い活用させていただきます。

〔DV被害者支援基金〕への御寄付（DV被害者の方へ自立支援金を給付しています）

国際ソロプチミスト米子 会長 坂口 浩子 様

〔交通遺児福祉資金〕への御寄付（県内の交通遺児へ激励金を支給します）

有限会社仁徳砂利 代表取締役 岡村 文美子 様



■ 問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331 ■

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン			
		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償		
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉

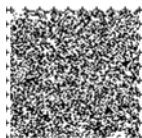
TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00 ~ 17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30 ~ 17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



鳥取県福祉研究学会

第17回研究発表会 研究発表募集

ひとつひとつの小さな種（実践・研究）が、
やがて大きな花（福祉社会の発展）を咲かせる

募集締切
令和5年12月15日

1 発表対象者

鳥取県内に所属・在住する福祉に関する業務に従事している者、福祉に関する調査研究している者、その他福祉に関心を持つ団体・個人

2 募集内容

(1) 口述発表（奨励賞の該当区分）・・・分野別の発表を募集します。

あらかじめ指定された時間内に、発表者が研究成果を口述により発表するものです。

※基本的には会場にて発表をいただきますが、オンラインでも発表可能です。

No	分野	研究発表例
1	高齢者福祉（施設系）	介護、高齢者虐待防止、認知症ケア、地域密着サービス、生きがい対策等
2	高齢者福祉（在宅系）	策等
3	障がい児・者福祉	生活介護、生活自立訓練、就労支援、社会参加促進等
4	児童福祉	児童養護、保育、情緒発達支援、母子・父子家庭支援、児童虐待・DV防止等
5	地域福祉	地域福祉計画、住民福祉活動、福祉教育、ボランティア等
6	その他社会福祉領域	共生型ホーム、生活保護、成年後見、権利擁護、企業CSR、食育等

(2) ポスター発表（奨励賞の非該当区分）・・・分野を分けての募集はしません。

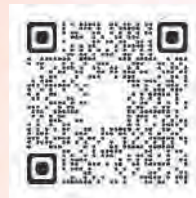
3 応募期間

令和5年8月1日～令和5年12月15日

鳥取県社会福祉協議会ホームページ

(<https://www.tottori-wel.or.jp/common/gakkai/>)

に詳細を掲載しておりますのでご確認ください。



(鳥取県福祉研究学会ホームページ)

4 応募先

鳥取県福祉研究学会事務局（鳥取県社会福祉協議会 福祉人材部内）

第17回研究発表会の開催

と き：令和6年2月24日（土）10：20～14：45（予定）

と ころ：鳥取看護大学・鳥取短期大学（倉吉市福庭854）

【学会からのメッセージ】

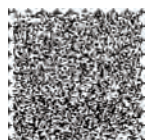
何度も試行錯誤を重ね、ようやく生み出される成果があります。少し視点を変えるだけで思いがけない発見をすることもあります。

私たちは、皆さんのこうした努力を応援し、専門性やノウハウを共有して、鳥取県域の福祉社会の発展向上を図りたいと思っています。

研究発表は、社会福祉に関わる活動、研究等を行っている方が日頃からの成果を発表する場です。

また、それは「自らを試し、自らを磨くこと」に他なりません。

皆さんの意欲的なチャレンジをお待ちしています！！



■ 問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 ■